

Taichi Sueyasu

悪気のない人を責めたくない

大学時代、祖母から法律に関わる相談を受け、法律書を読んだ時に、突如として「法律を読む」楽しさに目覚める。

もともとロジカルな考え方が好きなこともあって、弁護士になることを決意。

弁護士になったころは、問題の起きた福祉施設に行政側の弁護士として指導をしていた。しかし、現場を知れば知るほど施設の方は利用者にかかれと思ってやっていただけで、全く悪気のないことが分かり、とても胸が痛んだ。

そこで、行政指導が入らなくてすむように施設側の相談に乗ろうと、福祉施設の研修や顧問弁護士の活動に乗り出した。

昔から子どもとお年寄りの対応には慣れていて、福祉施設関係者からも“話しやすい弁護士”として認知されている。

福岡で福祉問題に強い弁護士 といえば末安！を目指します

福岡パシフィック法律事務所

弁護士

末安 大地

略歴

父の仕事の関係で、高校時代はオーストラリアで過ごす

熊本大学法学部卒業
九州大学法科大学院修了

現役では司法試験不合格だったため一度は就職するも、
弁護士への夢をあきらめきれず、会社員をしながら受験勉強

司法試験合格ののち、福岡パシフィック法律事務所に入所

趣味は漫画やゲームとインドアでありながら、
最近の休日の過ごし方はキャンプ、磯釣り

【資格】

弁護士
キャンプインストラクター
レクリエーションインストラクター

連絡

〒810-0044

福岡県福岡市中央区六本松 4-11-25
クロッシング 2100 六本松 4F

TEL : 092-726-8429

FAX : 092-726-8430



福岡パシフィック法律事務所

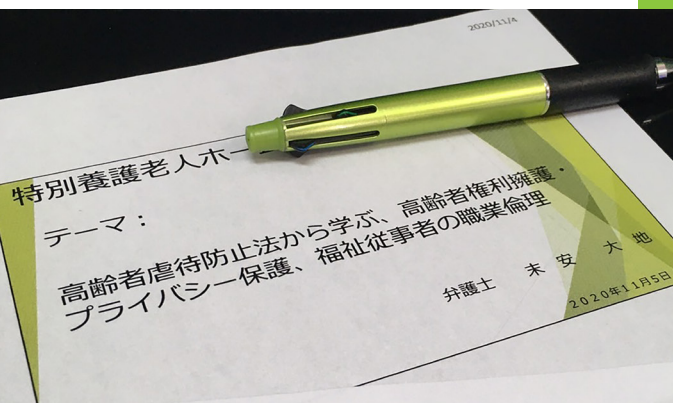


福祉施設に顧問弁護士という選択肢

皆さんの福祉施設で、経営者や現場のスタッフだけで悩んでいることはありませんか？
実はそれ、弁護士がお役に立ってます。

福祉施設が弁護士と顧問契約を結ぶメリットは数多くあります。
例えば、福祉施設関係者が集まるケース会議。
専門的な知識がないために問題点や悩みの共有だけで終わってしまうことが多いのですが、
そこに弁護士が入ることで具体的な解決に導くことができます。

私は福祉の現場で、問題の先送りを続けた結果
事が大きくなってしまった事例を何度となく見てきました。
実際のところ福祉施設で起きる問題を全てなくすことは
難しいのですが、弁護士がいれば“未然に防げること”を増やしたり、
事が起きた時の道筋を示したりすることは可能です。



福祉施設の従業員研修もしています

福祉施設の法務は、弁護士業務の中でも特殊と言えます。
利用者の判断能力の問題や家族からのクレームなど
日々の現場で起きていることに、福祉施設特有の
コンプライアンス問題が関わるからです。
そして、そういった問題は現場で起きるので、
外からでは問題が表面化しにくいのが現状です。

私は、高齢者福祉に特化した弁護士として
福祉法、高齢者虐待防止法などに
精通しているのはもちろん、
自分が実際に施設に足を運ぶことにこだわり、
福岡市近郊を中心に活動をしています。

「弁護士に相談する」という行為は
心理的なハードルが高いとは思いますが、
安心して福祉施設の経営をするための
「お守り」を手にすると思って、お気軽にご相談ください。

